

審査講評

審査長 糸魚川フォッサマグナミュージアム 学芸員 茨木 洋介
新潟薬科大学 非常勤講師 大山 賢一

1 出品状況など

今年度の出品数は、小学校10件（7校）、中学校12件（3校）、高等学校1件（1校）の計23件（11校）で、昨年度の「県下生物・岩石標本展示会」の「岩石・化石標本の部」の小学校6件（5校）、中学校11件（1校）の計17件（6校）と比較して、増加しました。新型コロナウイルスの感染拡大の影響で夏休み期間が短くなり、短期間で標本製作が可能な岩石標本が増えたという指摘もありますが、多くの方が地学分野の資料に接し、今年度から始まった新しい標本展の門出が賑わったことを喜びたいと思います。

分野的には、岩石が21件（小学校10件、中学校11件）、化石が2件（高等学校1件、中学校1件）と大きく偏りました。化石の研究には地道な作業が付きまといましますし、高価な機器を必要とすることもあります。せっかく博物館があるのですから、化石に興味・関心がある人は、ぜひ博物館に相談してもらいたいものです。

2 岩石標本について

今年度も、露頭から採取した岩石標本の出品はありませんでしたが、露頭からの採取には危険が伴いますので、海岸礫や河床礫を採取することは差支えないでしょう。ただ、海岸礫は「塩抜き」をする必要がありますし、河床礫はよく洗浄して泥を落としてください。

また、河床礫は程度の差こそあれ表面が風化していますので、岩石ハンマーで割って新鮮なところを観察したいものです。今年度は、海岸礫もハンマーなどで割ってある標本が多く、好ましく感じました。

なお、ハンマーで割った岩石の破断面の周囲は鋭利な峰となっていることがありますので、必ずハンマーの平らな面で叩いて潰しておいてください。

また、岩石カッターで切った標本もありました。切断面が的確に研磨されて観察しやすくなっている標本もありましたが、切りっ放し状態の標本も見られました。ぜひ、がんばって研磨してもらいたいものですが、研磨できない場合は、ハンマーで割りましょう。

標本の大きさは、研究用とする場合は握りこぶしくらいの大きさが必要とされていますが、展示会に出品する場合は長径5～6cm程度でよいでしょう。

ただし、糸魚川の海岸の石の場合は、特別な理由がなければ、これからも多くの方が石拾いを楽しめるよう、必要とする数だけの、小ぶりの石を拾うようにしましょう。

作品のテーマは、よく考えて、出品する標本とマッチするようにしましょう。また、研究テーマが先立つ場合は、それに見合うだけの標本を出品しましょう。着眼は良いのに標本が不足しているという、惜しい作品もありました。

会場を見渡すと、昆虫標本のエリアは整然としているのに対して、岩石・化石標本のエリアはちょっと雑然と見えます。それは、昆虫標本は標本箱がほぼ決まった仕様のものしか使われていないのに対して、岩石・化石は決まった標本箱というものがないからです。

今回は、岩石標本箱として、自作の木箱、既製品の木製標本箱、既製品の樹脂製セクションケースやコンテナ、ボール紙製の昆虫標本箱などが使われています。それぞれ一長一短ありますが、標本のサイズに合わせて仕切ることができる箱が好ましいでしょう。

展示会に出品するときは、透明カバーを用意しましょう。それは、他人が触れないようにするためと、標本にホコリが積らないようにするためです。樹脂製のケースの蓋で半透明のものは観察の妨げとなりますので、別に透明カバーを用意してください。A3判までなら100円ショップでも売っている塩化ビニル製の硬質カードケースで充分です。

カバーとして箱にラップを貼った作品がありましたが、標本を取り出せないため、同定チェックができませんでした。

3 より良い作品をめざして

今年度からレポートは必須ではなくなったそうですが、すべての作品にレポートが添付されていて、とてもうれしく思いました。

標本を観察してわかったことがレポートに書かれていると、評価が高くなります。図鑑から岩石の説明を抜き書きするときに、図鑑の説明と、自分で観察したことに違いがあるかどうか書くと、もっと高く評価されます。

同定誤りの多い作品は、どうしても低く評価されます。目に付いた同定誤りには、訂正の付せんを置いておきましたので、参考にしてください。時間の関係で、すべての標本を完全にチェックすることはできませんでした。

ふたつに割った石は、片方だけ箱に収めて、もう一方は自宅で保管してください。

化繊綿は、シート状のものはよいのですが、モコモコしたものは標本が綿に隠れてしまい見えなくなってしまうので、使わないでください。

標本箱のひとつの枠の中には、標本を1個だけ入れましょう。そして、ラベルを標本1点ずつに作りましょう。ラベルは標本に付くものであって、岩石名に付くものではありません。

そして、標本ひとつずつに標本番号を付けましょう。今回出品の標本の中での通し番号でもよいですし、「200826015」のように採取日と採取日ごとの通し番号にしてもよいです。

4 おわりに

審査員は二人とも今年初めて審査にあたりました。事務局の方の話では、昨年の「岩石・化石標本の部」と比べて、今年は全体的にレベルアップしているそうで、それに見合った賞の数を用意しておらず、心苦しく思っているとのことでした。

来年は賞の数を増やしてもらえると嬉しいですが、それでも事務局の人が慌てるくらいの数の作品が集まると良いですね。

また来年、たくさんの岩石、化石に出会えることを楽しみにしています。